

第  
5  
回

# 高校生高知減災エンス塾

## 寺田寅彦先生の地球科学観に学ぶ

げんさいえんす

### — 減災科学研究の推進 —

令和元年

12月22日(日)

13:30~

参加無料

南海トラフ  
巨大地震を  
迎え撃つために

「天災は忘れられたる頃来る」とは、高知出身の科学者であり文学者でもある寺田寅彦先生が、自然災害を説く際によく使われた言葉と言われています。歴史の中でたびたび日本を襲ってきた地震や津波。その正体を知り、次にやってくる被害を軽減しようとする研究が懸命に進められています。地震・津波研究を減災に生かすためにはどうしたらいいか、みなさんで考えてみましょう。

話題提供：**金田 義行**

香川大学地域強靱化研究センター長  
特任教授 学長特別補佐  
海洋研究開発機構 上席技術研究員



場 所：寺田寅彦記念館 表座敷（高知市小津町 4-5）

開催時間：13：30～15：30

定 員：高校生 20 名（事前申込が定員に満たない場合は当日参加も可能です）

申込方法：メールもしくは電話にてお申し込みください。

※電話でのお申し込みは平日にお願いいたします。

E-mail：chiiki@jamstec.go.jp 宛に以下を明記のうえお送りください。

【件 名】 第五回高校生高知減災エンス塾参加希望

【内 容】 氏名、高校名、学年、参加人数

電 話：045-778-5762

問合せ先：国立研究開発法人海洋研究開発機構 研究推進部 研究推進第2課

主 催：国立研究開発法人海洋研究開発機構

後 援：高知県教育委員会、高知県私立中学高等学校連合会



本対話型イベントは、文部科学省科学技術試験研究委託事業「南海トラフ広域地震防災研究プロジェクト」により実施するものです。